



## 一度着用しただけの礼服、

## そのまま収納していませんか？

「一度しか着ていないから・・・」と、何もお手入れしないでそのままタンスやクローゼットに収納しがちな「礼服」。でもいざ着ようと思った時ら・・・

「虫食い」になっていたり「カビ」が生えていたらとても困りますよね。

たまにしか着ない、「礼服」のお手入れの「コツ」をご紹介します。



### 礼服のお手入れのポイント

こんな風になる前に・・・



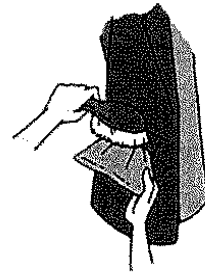
#### 1: ブラシをかけホコリを落とす

★着用後は豚毛や馬毛などきめが細かいブラシをかけ、ホコリや軽い汚れを掃います。



##### ポイント1

ジャケットは  
面を意識しながらリズムカルに  
ブラッシングの動作は大きく、面を意  
識しながら。  
全体がかけた後、襟や袖口はブラシを  
細かく使って掻きだす様に念入りに。  
これで大抵のホコリ等は落ちます。



##### ポイント3

見落としやすい

ポケット裏も大切です

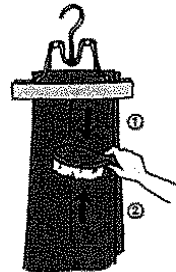
ポケットの中は、ホコリ等がたまりやすい  
場所です。内側を引き出し縫い目に沿って  
掻き出します。  
負担がかかりやすい場所なので、ホツレや  
穴も同時にチェックできます。



##### ポイント2

襟・肩は縫い目に沿って

毛髪やフケ等で汚れやすく、保管している  
際にもホコリがたまりやすい部分です。  
縫い目に沿って溝から掻きだす様にブラ  
ッシングした後、生地目を整える様に全体  
をブラッシングします。



##### ポイント4

スラックスは

ハンガーに吊るしながら

スラックスはベルトを外し、ハンガーに吊るして  
行います。

- 1.裾からウエスト(下から上)に
- 2.ウエストから裾に(上から下に)の順で  
ダブル仕上げは折り返し部分を伸ばすなど  
して、ブラシの先をつかって掻き出します。

#### 2: クリーニングに出す

★一度でも着用したら「クリーニング」・・・が基本です。

黒地なので汚れが目立ちませんが、一度着用しただけで汚れています。

- ・食べ物や飲み物の汚れ・・・シミ・虫食いの原因
- ・汗・皮脂の汚れ・・・シミ・湿気(カビ)の原因

★礼服をクリーニングに出すタイミング

着用する頻度を目安に考えましょう。

- 一度着用してその後、滅多に着る事が無いようであればクリーニングに出しましょう。
- 一定の期間内に何度か着用する場合は、着用後ブラッシングと陰干しでとどめておいて、着る機会が無くなった時点また、季節の変わり目等でクリーニングにかならずお出し下さい。



#### 3: 保管について

- ★**湿気予防**の為、クリーニングから戻ったらポリ袋は必ず外して収納して下さい。(不織布包装は大丈夫)
- ★**型崩れ防止**のために、ゆったり収納しましょう。 **防虫対策**も忘れずに！！
- ★定期的に風を通すなど、**除湿対策**も大切です。